



2026年 3 月期 第 1 四半期決算

伯東株式会社

2025年7月31日

連結業績概要

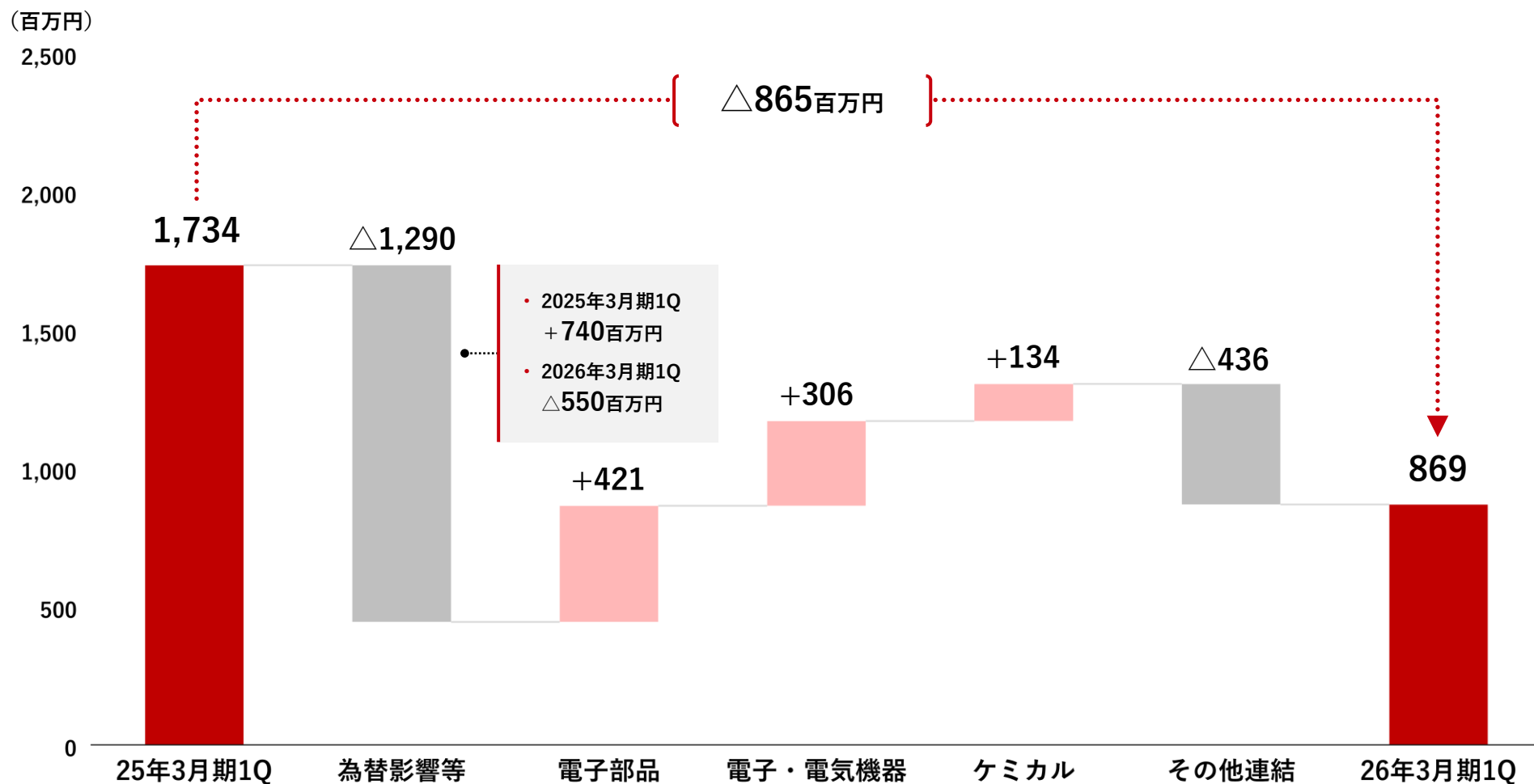
- 車載関連分野の販売減少や産業機器分野における顧客の在庫調整継続等及び為替変動の影響により、前年同期比で減収・減益となるが、為替影響を除いた実質営業利益は増益

(百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	42,380	40,337	△ 2,042	△ 4.8%	・ 車載関連分野の半導体デバイスの販売減少等により減収
売上総利益	6,304	5,748	△ 556	△ 8.8%	・ 為替影響による売上総利益率低下 前年1Q 14.9% ⇒ 当1Q 14.2%
営業利益	1,734	869	△ 865	△ 49.9%	・ 売上総利益の減少と販管費の増加 (新規連結子会社の販管費、及びのれん償却費の発生等)
経常利益	2,257	719	△ 1,537	△ 68.1%	・ 前年1Qは為替差益4.4億円、当1Qは為替差損1.7億円を計上
四半期純利益	1,543	659	△ 884	△ 57.3%	・ 政策保有株式の売却により投資有価証券売却益2.5億円を計上
EPS※	82.08	35.03	△ 47.05	—	

※ EPS：1株当たり当期純利益

連結営業利益の増減要因（1Q）

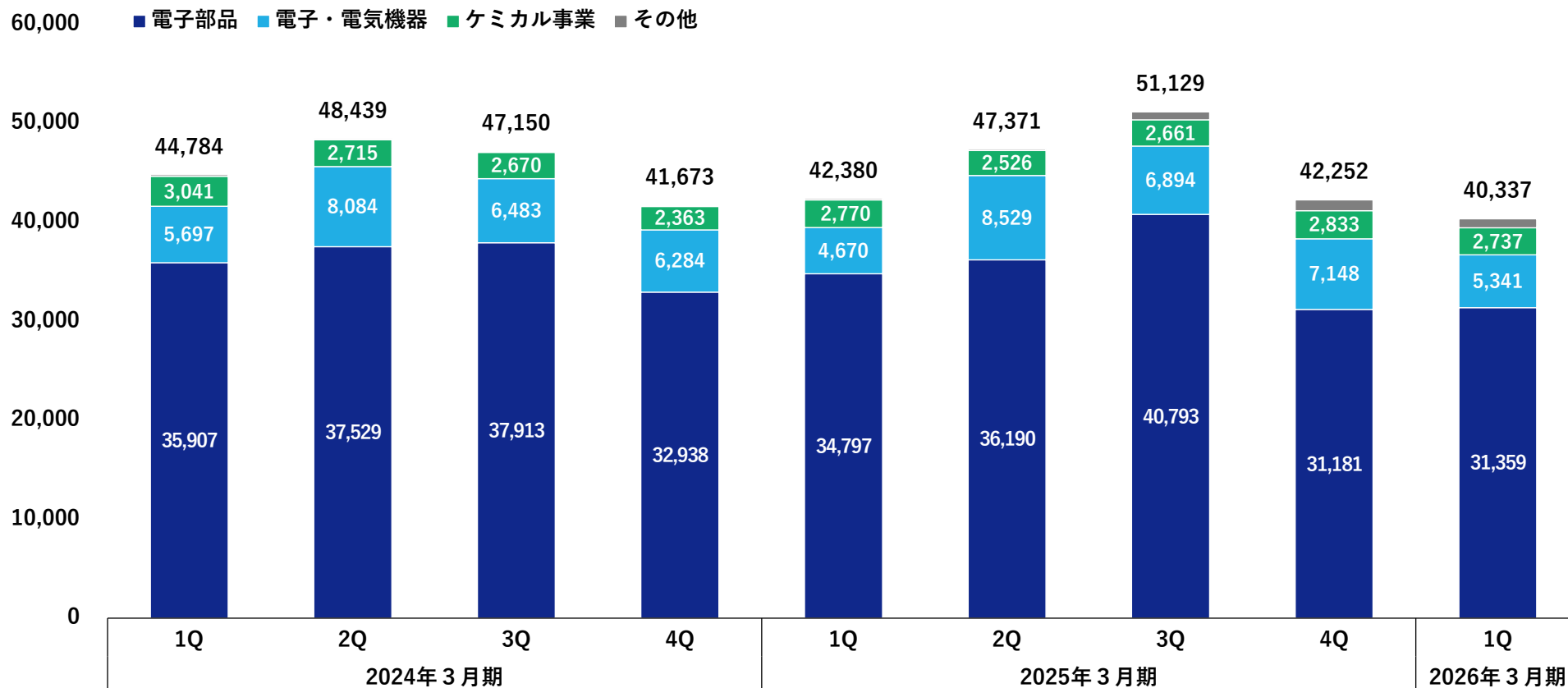
- 前年1Qは為替変動(円安)による利益影響が約7億円のプラス、当1Qは円高により約5億円のマイナス
- 為替影響を除くと、各主要セグメントの実質営業利益は増益で推移



連結売上高の四半期推移

- 電子部品：車載向け半導体デバイスは25/3期3Qの一括販売により、前4Qに続き当1Qも反動減が継続
生成AI関連(サーバー、インフラ)やOA機器分野は堅調持続
- 電子・電気機器：前年度好調のパワーデバイス向け関連機器は顧客の設備投資抑制により販売が減少
- ケミカル：化粧品原料の販売は回復傾向が続くも、石油・石化及び紙・パルプ向け工程添加剤は販売が減少

(百万円)



セグメント別業績

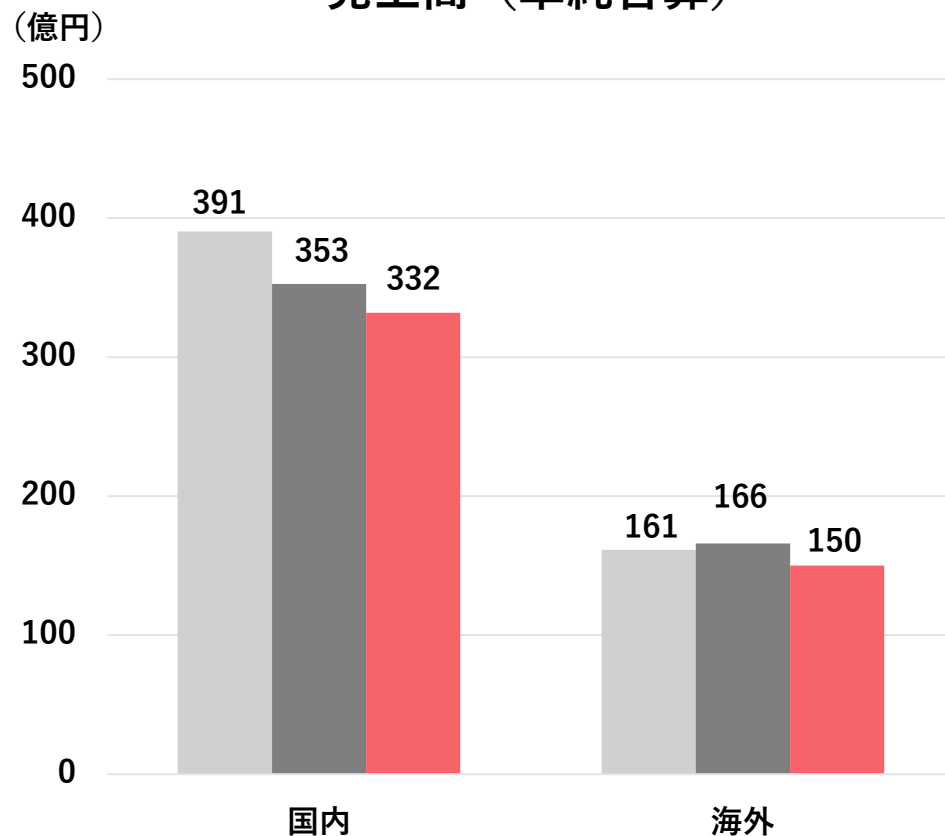
- 電子部品は市況及び為替変動により減収・減益となるが、為替影響を除いた実質利益は増益
- その他セグメントは新規連結子会社ののれん償却費や太陽光発電事業の修繕費発生等により損失計上

(百万円)		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比		
				増減額	増減率	
電子部品	売上高	34,797	31,359	△ 3,437	△9.9%	電子部品 ・ 車載向け半導体デバイスの販売減少等及び為替影響により減収・減益
	セグメント利益	1,586	521	△ 1,064	△67.1%	
電子・電気機器	売上高	4,670	5,341	+671	+14.4%	電子・電気機器 ・ 半導体向け環境測定装置や理化学向け分析装置の販売増加により、増収・増益
	セグメント利益	127	418	+290	+227.8%	
ケミカル	売上高	2,769	2,737	△ 32	△1.2%	ケミカル ・ 石油・石化及び紙・パルプ向けは販売減少も化粧品原料の販売回復により、増益
	セグメント利益	45	151	+106	+234.2%	
その他	売上高	247	1,000	+752	+304.1%	
	セグメント利益	70	△ 370	△ 440	—	
合計	売上高	42,484	40,438	△ 2,046	△4.8%	
	セグメント利益	1,830	721	△ 1,108	△60.6%	

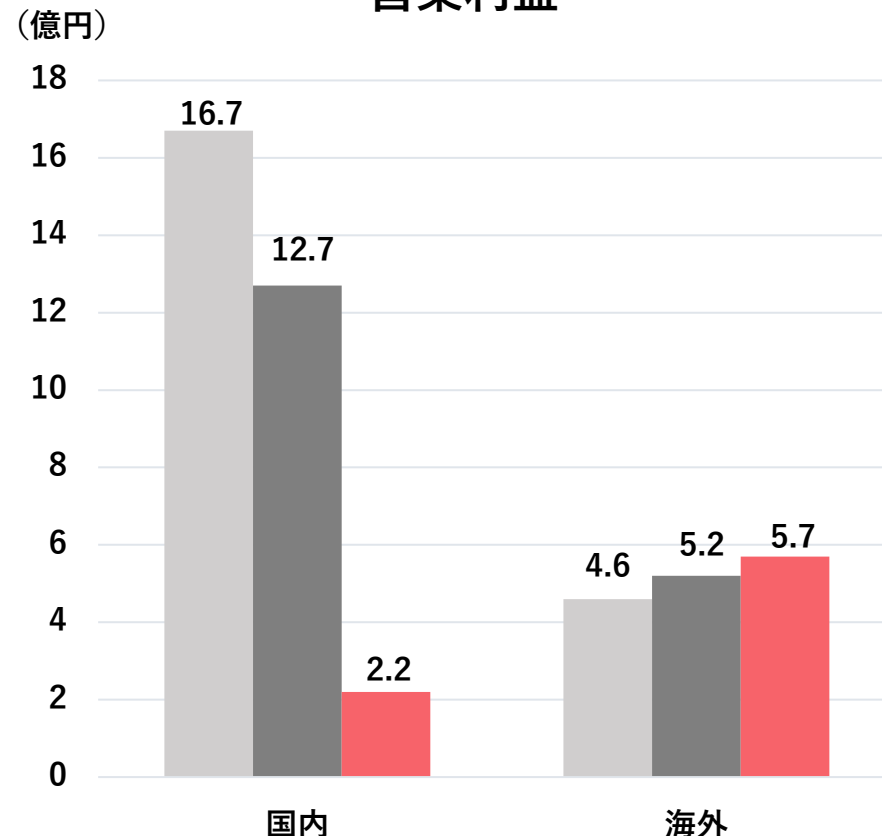
2026年3月期より、工業薬品事業はケミカル事業に名称を変更

※売上高はセグメント間内部取引消去前（同一セグメント内取引は相殺済）の金額

売上高（単純合算）



営業利益



国内（伯東＋連結子会社3社）

伯東、モルデック、HAL、クリアライズ

海外（連結子会社9社）：

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社

■ 24/3期 1Q実績 ■ 25/3期 1Q実績 ■ 26/3期 1Q実績

連結貸借対照表

- 売上債権の減少も棚卸資産と投資有価証券の増加等により、総資産は4億円の増加
- 仕入債務の増加等により、総負債は13億円の増加
- 株主還元等により、純資産は9億円の減少

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期 第1四半期	増減額	
総資産	130,376	130,791	+415	
現預金	14,929	15,891	+962	・ 連結CF参照
売上債権	45,795	42,405	△3,390	・ 売上の減少に伴い減少
棚卸資産	44,484	46,757	+2,273	・ 契約に基づく商品仕入による増加
投資有価証券	8,333	9,449	+1,116	・ 保有株式の株価上昇による増加
総負債	64,829	66,143	+1,314	
仕入債務	17,571	19,823	+2,252	
有利子負債	35,282	33,942	△1,340	・ 運転資本の減少に伴い減少
純資産	65,546	64,647	△ 899	・ 株主配当により利益剰余金が減少 ・ 保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加
自己資本比率	50.3%	49.4%	—	

キャッシュ・フロー計算書

- 売上債権の減少と仕入債務の増加等により、営業キャッシュ・フローは44億円の収入
- 投資有価証券の売却等により、投資キャッシュ・フローは1.7億円の収入
- 借入金の返済や配当金の支払い等により、財務キャッシュ・フローは37億円の支出

(百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	
営業キャッシュ・フロー	△ 1,207	4,430	+5,637	・ 税前利益+9.7億円、売上債権の減少+34億円、棚卸資産の増加△24億円、仕入債務の増加+22億円
投資キャッシュ・フロー	△ 448	175	+623	・ 投資有価証券の売却+2.8億円、固定資産の取得△1.0億円
財務キャッシュ・フロー	△ 826	△ 3,732	△ 2,906	・ 短期借入金の増加(純額)+4億円、長期借入金の返済△17億円、配当金の支払△23億円
換算差額	497	88	△ 409	
現金・現金同等物の増減額	△ 1,986	961	+2,947	
現金・現金同等物の 期末残高	13,582	15,891	+2,309	

2026年 3 月期 連結業績予想

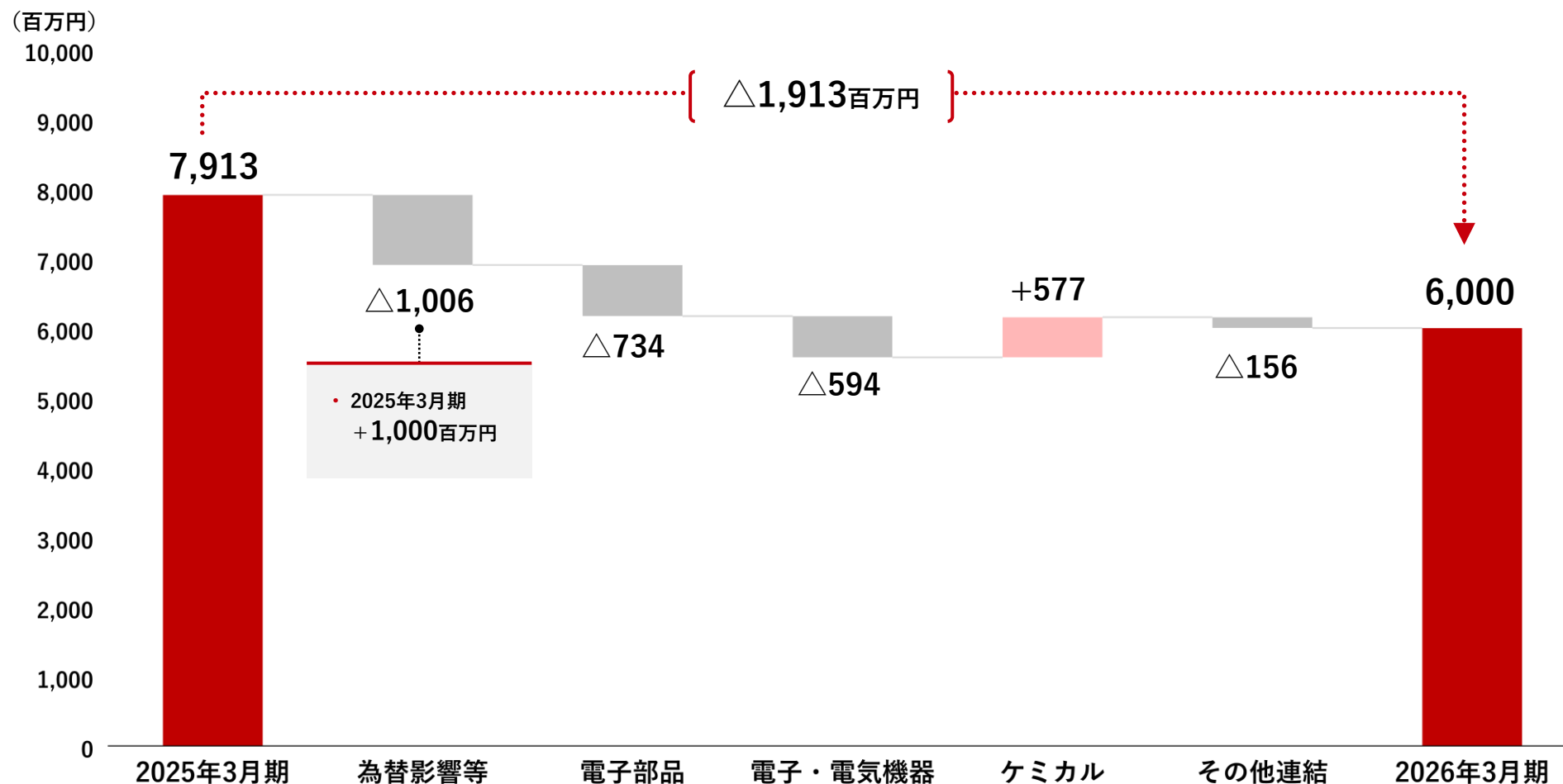
- 直近(2025年 4 月30日公表)の業績予想からの修正は無し
- 25/3期の利益押し上げ要因となった為替影響は26/3期予想に織り込まない一方、政策保有株式の売却益を見込み、当期純利益は対前年比微減を予想

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期			前年比	
	実績	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	183,133	86,000	100,000	186,000	+2,866	+1.6%
売上総利益	27,878	12,150	14,550	26,700	△ 1,178	△4.2%
営業利益	7,913	2,000	4,000	6,000	△ 1,913	△24.2%
経常利益	7,321	1,800	3,900	5,700	△ 1,621	△22.2%
当期純利益	5,131	1,700	3,200	4,900	△ 231	△4.5%
EPS※	272.76円	—	—	260.41円	△12.35円	—
ROE	7.8%	—	—	7.5%	△0.3pt	—

※ EPS：1株当たり当期純利益

連結営業利益の増減要因（通期）

- 半導体は顧客の在庫調整と需要低迷が継続、パワーデバイス向けの設備投資も鈍化
- 工業薬品は化粧品需要の回復と環境及び電子産業分野の事業拡大を見込む
- 25/3期は、円安進行による為替影響が通期で約10億円のプラス



2026年 3 月期配当予想

- 直近(2025年 4 月30日公表)の配当予想からの修正は無し
- DOEの導入による安定的な株主還元：新中期経営計画(2026年 3 月期～2029年 3 月期)の配当指標として、配当性向70% (±5%) またはDOE5%のいずれか高い方を配当額の目安とする

			2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
1株当たり配当金	中間	(円)	140	130	100
	期末	(円)	140	130	100
	年間	(円)	280	260	200
配当金総額	年間	(百万円)	5,259	4,892	—
配当性向		(%)	101.4	95.3	76.8
純資産配当率 (DOE)		(%)	8.1	7.4	5.7

・ 1株当たりの期末配当金は130円、
年間配当金は期初計画通り260円

・ 1株当たりの年間配当金は200円
を予想



IRに関するお問い合わせ先

経営企画部  03-3225-8931

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。